

新居浜市 中萩・大生院・金栄・惣開校区 ため池 ハザードマップ Niihama City Reservoir Hazard Map

このハザードマップには、ため池が決壊した場合に想定される浸水範囲や危険箇所などの災害情報と、避難所の位置、防災関連施設などを記載しています。いざというときには雨の状況や気象情報、災害情報などに十分注意して、安全に避難しましょう。

保存版

危険箇所の確認!

早めの避難!

災害時に備えて準備!



わが家の避難メモ

あらかじめ、どのタイミングで避難するか、どこに避難するか、家族で確認しておきましょう。

① わたしの家は…

浸水の深さ

メートル

② 避難のタイミングは…

身の危険を感じたら

大規模な地震が発生したとき
ため池に異常がみられたとき

警戒レベルが発表されたら

警戒レベル **3** で避難する
(高齢者など避難)


警戒レベル **4** で避難する
(危険な場所から全員避難)

③ 早めの立退き避難先は…

近くの緊急避難場所

④ 逃げ遅れた場合…

2階以上
近くの
丈夫な建物



家族・親戚・知人の連絡先

名前	連絡先(会社・学校など)	携帯電話

緊急連絡先

市外局番：0897

<input type="checkbox"/> 消防(火災・救急・救助)	119	<input type="checkbox"/> 新居浜市役所(代表)	TEL: 65-1234 FAX: 33-5180
<input type="checkbox"/> 警察(事件・事故)	110		
<input type="checkbox"/> 災害伝言ダイヤル(安否確認)	171		
<input type="checkbox"/> 新居浜市災害対策本部 (水防本部)	65-1349	<input type="checkbox"/> 農地整備課	(TEL) 65-1263 (FAX) 65-1305
<input type="checkbox"/> 防災行政無線・自治会放送内容 電話対応システム	050-3797-2180	<input type="checkbox"/> 危機管理課	65-1282 33-5180
		<input type="checkbox"/> 川東支所	46-1180 65-1235
		<input type="checkbox"/> 上部支所	43-6101 65-1235
		<input type="checkbox"/> 別子山支所	64-2011 64-2150

ハザードマップの使い方

防災対策の第一歩は、自分たちの地域でどのような災害が想定されているか知ることから始まります。このハザードマップを活用して地域や家族で「避難方法」や「危険な場所」などについて話し合い、予測の困難な自然災害に備えましょう。

ハザードマップが配布されたら、みなさんをお願いしたいこと

① どこが危険な場所か知る

- ・自宅や職場の周辺は、どのぐらいの浸水深が想定されていますか。
- ・土砂災害のおそれがありますか。

裏面の地図

② いつ避難するか知る

- ・大規模な地震が発生したときには、すみやかに避難しましょう。
- ・土砂災害や洪水時には、警戒レベルに応じて避難しましょう。

左下のページ

③ どこに避難するか確認する

- ・ため池決壊による浸水の深さによって、避難行動は異なります。
- ・建物の1階以上が浸水する場合（浸水深 50cm 以上）は、被害が発生する前に、浸水しない安全な場所（緊急避難場所、高台の道路、空地など）に避難しましょう。
- ・ただし、自宅の周辺がすでに浸水していたり、夜間で視界が悪く、屋外に出るとさらに危険な場合には、2階以上や近くの丈夫な建物などに緊急避難してください。

右下のページ

もっとハザードマップを活用するには…

実際に避難場所まで歩いてみる

避難場所に行く途中に、水路や急なガケなどの危険な箇所がないか確認しましょう。自宅から避難場所までの所要時間も計っておきましょう。

地域の防災訓練に参加する

大規模な災害が発生したときには、交通の遮断などで孤立することも考えられます。日頃から自主防災組織や地域の活動に参加し、災害に強いまちづくりに取り組みましょう。

ほかのハザードマップも確認する

2019年に全戸配布した「総合防災マップ」には、地震・津波・洪水・土砂災害のリスクマップや避難方法を掲載しています。



防災訓練

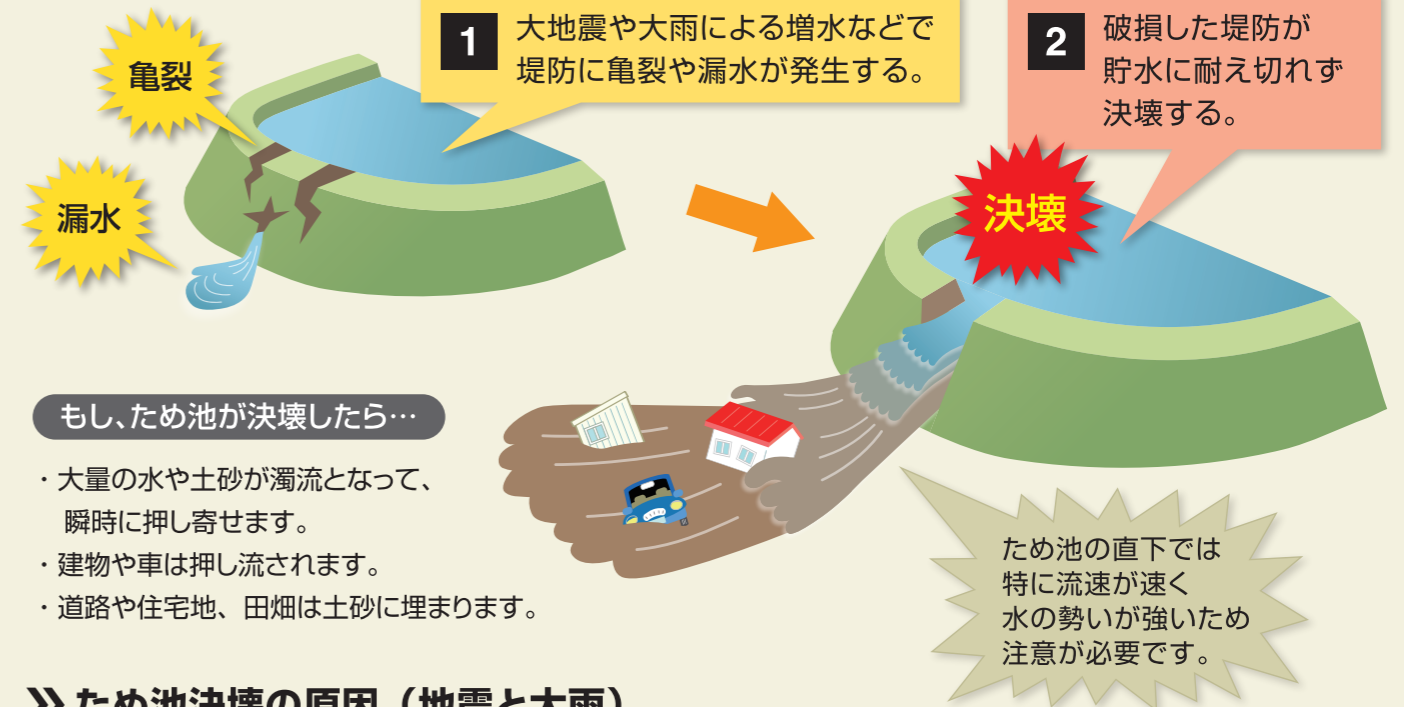


お手元がない場合は、市役所・支所・公民館・地域交流センターで配布しているほか、新居浜市ウェブサイトでも確認できます。

ため池決壊について

平成28年熊本地震や、平成30年7月豪雨などの近年の災害において、ため池が相次いで決壊し、下流の地域で被害が発生しています。地震や大雨によって万が一ため池が決壊した場合に備えて、ため池による被害が予想される範囲や、避難方法を確認しましょう。

》ため池決壊の起こり方



》ため池決壊の原因（地震と大雨）

地震

地震による強い揺れによって、堤防に亀裂や陥没などが発生したり、地盤が液状化してため池が決壊することもあります。南海トラフ巨大地震が発生した場合、新居浜市では最大震度7が想定されており、地震・津波・ため池決壊・土砂災害などの複数災害に注意が必要です。

氾濫シミュレーションの条件

ため池の氾濫解析は、それぞれのため池が満水するとき、大地震など何らかの原因で瞬時に決壊し、堰を切ったように水が流れ出したものとして行っています。

大きな河川に流れ込むことは計算されていますが、堤体が崩れることによる土石流、河川の橋梁に流木などが詰まること、小さな水路や建物などの障害物は考慮されていませんので、実際には違う流れとなる場合もあります。

大雨

集中豪雨や長雨、土砂災害や流木などによって、ため池の水位が上昇すると、堤防で漏水が起こったり、越水した水の勢いで堤防が侵食されて、ため池が決壊するおそれがあります。

いつ避難する？

土砂災害や洪水時には、警戒レベルに応じて避難しましょう

避難に関する情報や警報・注意報などの気象情報は、5段階の警戒レベルで伝えられます。

警戒レベル5では、すでに災害が発生している状況です。

警戒レベル3や**警戒レベル4**の段階で、地域で声をかけあって避難しましょう。

状況	気象状況が悪化	災害のおそれがある	災害のおそれが高い	災害発生または切迫
警戒レベル	1・2	3	4	5
避難情報	自主避難 注意呼びかけ	高齢者等避難	避難指示	緊急安全確保
雨	大雨・洪水注意報	大雨・洪水警報		大雨特別警報
風	強風注意報		暴風警報	
河川	氾濫注意情報 国領川（城下）	氾濫警戒情報 避難判断水位 2.30m	氾濫危険情報 氾濫危険水位 2.60m	氾濫発生情報
土砂	土砂災害に関するメッシュ情報		土砂災害警戒情報	

この段階で安全に避難しましょう

みずからの 避難行動を確認

●避難に備えて、災害が想定される区域、避難先、避難経路をハザードマップで確認しましょう。

危険な場所から 高齢者などは避難！

●避難に時間を要する人（高齢の方、身体の不自由な方、乳幼児等）と、その支援者は避難しましょう。
●その他の人は、避難の準備をしましょう。

危険な場所から 全員避難！

●すみやかに危険な場所から、避難先に避難しましょう。
●緊急避難場所までの移動が危険と思われる場合は、近くの安全な場所や、自宅内のより安全な場所に避難しましょう。

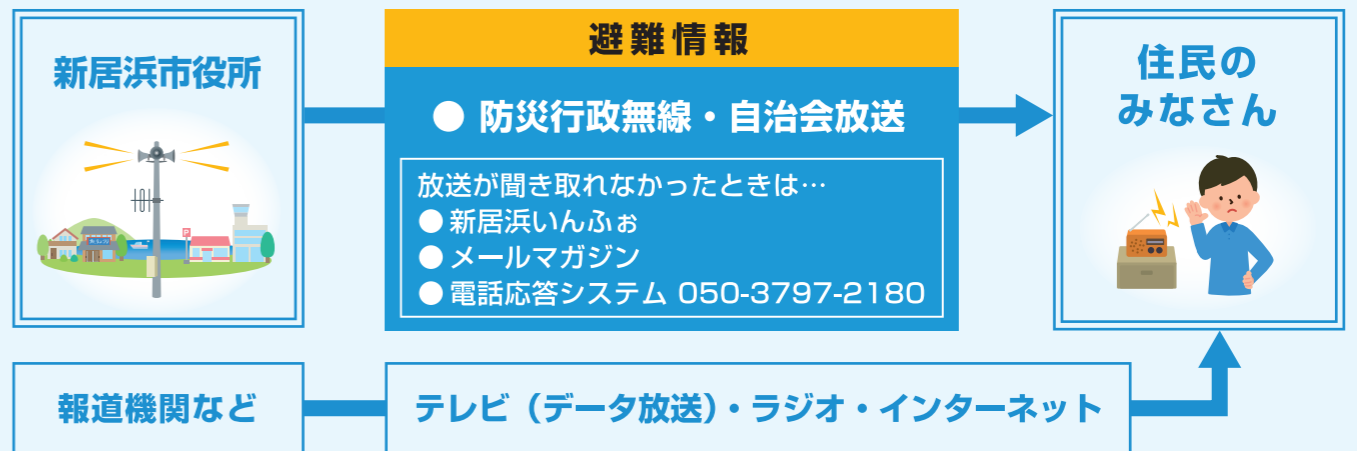
命の危険 直ちに安全確保！

●命を守るための最善の行動をとりましょう。

- 市町村が災害の状況を確実に把握できるものではない等の理由から、警戒レベル5は必ず発令されるとは限りません。
- 警戒レベル3は、高齢者等以外の人にも必要に応じ、普段の行動を見合わせ始めたり、危険を感じたら自主的に避難するタイミングです。警戒レベル4までに必ず避難しましょう。
- 内閣府／令和元年台風第19号等を踏まえた避難情報及び広域避難等に関するサブワーキンググループによる最終とりまとめ（令和2年12月24日公表）を基に記載しているため、表現等は変更になる場合があります。

避難情報の伝達方法

避難情報が発令された場合には、さまざまな手段で住民のみなさんに伝達されます。最新の情報を入手し、逃げ遅れることのないよう常に注意しましょう。



早めの避難を行うために、積極的に最新の情報を入手しましょう

スマートフォンアプリ 「新居浜いんふお」

防災・災害情報などの配信のほか、GPSを利用した災害時の避難場所への道案内（ナビ機能）があります。



新居浜市 防災ラジオ

普通のラジオとしてAM・FM放送を聴くことができますが、緊急時にはスイッチが入ってなくても自動的に専用チャンネルに切り替わり、大音量で緊急情報をお知らせします。緊急放送後は、放送前の状態に自動で戻ります。

ハローニュー新居浜 FM78.0

新居浜市独自のコミュニティFM放送局です。防災情報を迅速・確実にお知らせするのはもちろん、地域の情報から、市の魅力まで、ラジオでどんどん伝えていきます。

インターネットでもお聴きいただけます！

<http://www.hello78.jp>
m@hello78.jp

hnnfm78 新居浜 FM78.0

新居浜市 メールマガジン

避難勧告などの情報をメールで受け取ることができます。

<https://www.city.niihama.lg.jp/mobile/mailmaga/>

新居浜市 公式 SNS Facebook @niihamacity

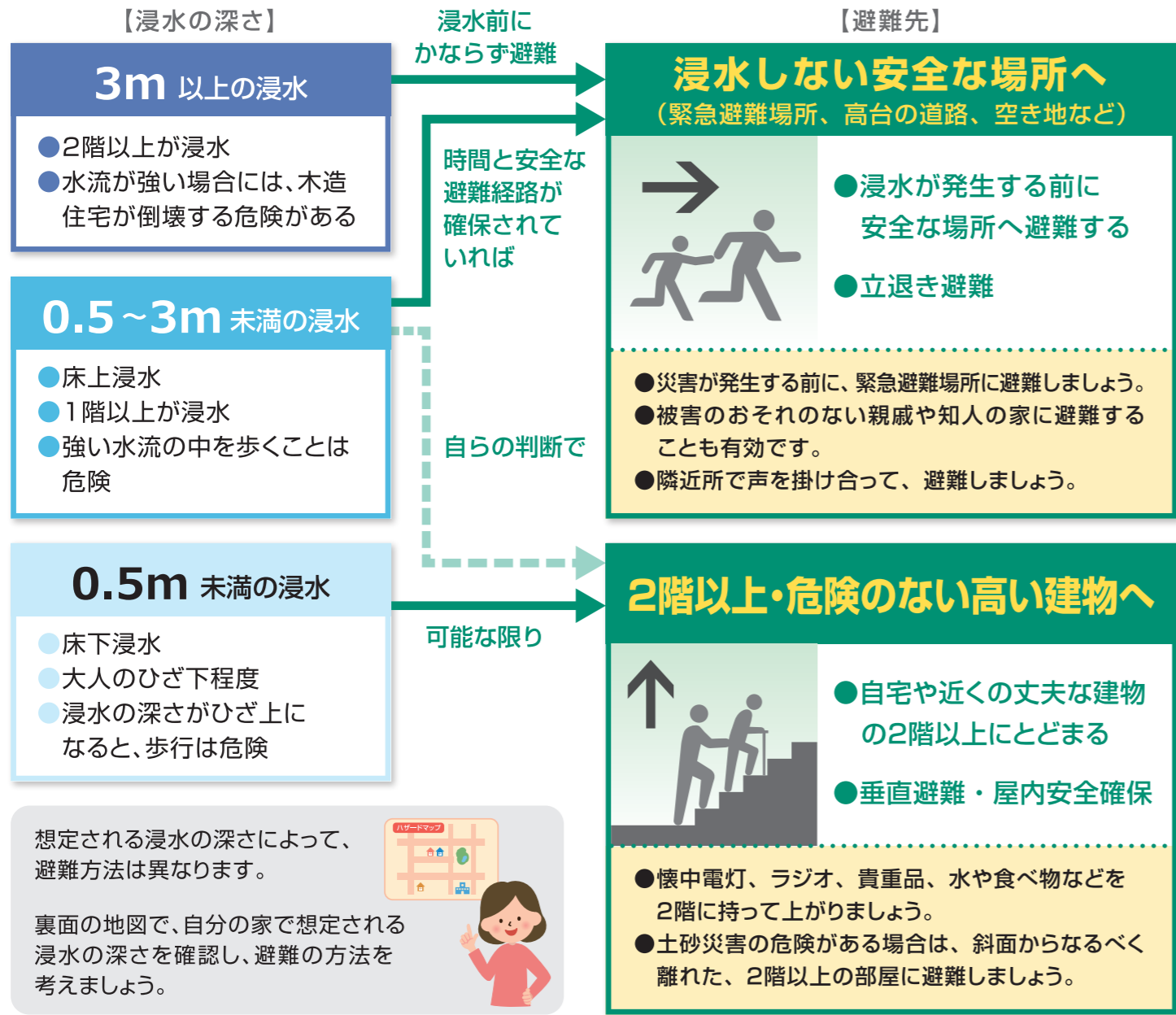
Twitter @niihama_city

LINE @niihama_city

どこに避難する？

ため池決壊による浸水の深さに応じて避難先は異なります

ため池による災害のおそれがあるとわかった場合には、すみやかに立退き避難してください。逃げ遅れた場合は、2階以上や近くの丈夫な建物などに緊急避難してください。



安全に避難するためのポイント

- 動きやすい恰好で
リュックサック、ヘッドライトがあれば、両手が空くので便利です。丈夫な運動靴を履きましょう。
- 冠水した道路は危険
蓋の外れたマンホールや側溝などが見えなくなり、転落のおそれがあります。
- お年寄りも一緒に
近所のお年寄り、身体の不自由な方、乳幼児など、災害時に援護を必要とする方に協力をお願いします。
- 明るいうちに避難
夜暗くなってからの避難は危険です。夜に大雨が予想されているときは、夕方までに避難しましょう。
- 川や用水路の様子を見に行かない
非常に危険です。インターネットで川やダム水位を確認できます。
- 土砂災害にも注意
災害は同時に発生するおそれがあります。山の近くに住んでいる方は、十分に注意してください。

非常持出品を準備しよう

- ラジオ
- 予備の電池
- ヘルメット
- 防災
- 飲料水
- 衣類・下着・靴下
タオル
- 通帳・印鑑
健康保険証
現金 など
- 懐中電灯、ラジオ、貴重品、水や食べ物などを2階に持って上がりましょう。
- 土砂災害の危険がある場合は、斜面からなるべく離れた、2階以上の部屋に避難しましょう。
- 軍手・皮手袋
- 非常食
- 感染症対策用品
- 必要に応じて
- ヘッドライト
または懐中電灯
- ロープ
- マスク
- 常備薬
- 体温計
- 救急用品
- アルコール消毒液
- 洗面用具
- ウェットティッシュ
- 粉ミルク、哺乳瓶
- スリッパ など
- 紙おむつ など

備蓄のポイント

●非常食の備蓄方法として「ローリングストック法」があります。普段から少し多めにレトルト食品などを買っておき、使った分を新しく買い足すことで、常に一定量の食料を家に備蓄しておく方法です。

●災害時には、ガスや電気、水道が止まることもあるため、カセットコンロとカセットボンベも合わせて用意しておきましょう。

こんなときは避難しましょう

- 大規模な地震が発生したとき**
- 集中豪雨や長雨が降り続いたとき**
- 避難指示などが発令されたとき**
- ため池に亀裂や漏水などの異常を発見したとき**
市役所や、ため池管理者に連絡をお願いします。